
令和2年 第4回 高千穂町議会定例会会議録(第2日)

令和2年12月9日(水曜日)

議事日程(第2号)

令和2年12月9日 午前10時00分開議

- 日程第1 議案第89号 令和2年度高千穂町一般会計補正予算(第5号)
- 日程第2 議案第90号 令和2年度高千穂町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 日程第3 議案第91号 令和2年度高千穂町介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 日程第4 議案第92号 令和2年度高千穂町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 日程第5 議案第93号 令和2年度高千穂町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)
- 日程第6 議案第83号 高千穂町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第7 議案第84号 教育関係の公の施設に関する条例の一部改正について
- 日程第8 議案第85号 高千穂町文化財保護条例の一部改正について
- 日程第9 議案第86号 高千穂町コミュニティセンター使用料徴収条例の一部改正について
- 日程第10 議案第87号 高千穂峡淡水魚水族館入場料徴収条例の一部改正について
- 日程第11 議案第88号 高千穂町光ケーブルネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第12 議案第94号 高千穂町公の施設等指定管理者の指定について

本日の会議に付した事件

- 日程第1 議案第89号 令和2年度高千穂町一般会計補正予算(第5号)
- 日程第2 議案第90号 令和2年度高千穂町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- 日程第3 議案第91号 令和2年度高千穂町介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 日程第4 議案第92号 令和2年度高千穂町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 日程第5 議案第93号 令和2年度高千穂町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)
- 日程第6 議案第83号 高千穂町国民健康保険税条例の一部改正について
- 日程第7 議案第84号 教育関係の公の施設に関する条例の一部改正について
- 日程第8 議案第85号 高千穂町文化財保護条例の一部改正について
- 日程第9 議案第86号 高千穂町コミュニティセンター使用料徴収条例の一部改正について
- 日程第10 議案第87号 高千穂峡淡水魚水族館入場料徴収条例の一部改正について
- 日程第11 議案第88号 高千穂町光ケーブルネットワーク施設の設置及び管理に関する条例の

一部改正について

日程第12 議案第94号 高千穂町公の施設等指定管理者の指定について

出席議員（13名）

1番 佐藤さつき議員	2番 板倉 哲男議員
3番 磯貝 助夫議員	5番 安在 昭則議員
6番 本願 和茂議員	7番 中島 早苗議員
8番 馬原 英治議員	9番 佐藤 久生議員
10番 坂本 弘明議員	11番 工藤 博志議員
12番 富高健一郎議員	13番 富高 友子議員
14番 佐藤 定信議員	

欠席議員（なし）

職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

局長 甲斐 順生	書記 佐藤健次郎
----------	----------

説明のため出席した者の職氏名

町長 ……………	甲斐 宗之	副町長 ……………	藤本 昭人
教育長 ……………	濱田 琢一	総務課長 ……………	石渕 敦司
財政課長 ……………	佐藤 英次	税務課長 ……………	須藤 浩文
町民生活課長 ……………	興梠 晶彦	企画観光課長 ……………	山下 正弘
福祉保険課長 ……………	有藤 寿満		
農林振興課長兼農業委員会事務局長 ……………			甲斐 徹
農地整備課長 ……………	佐藤 峰史	建設課長 ……………	佐藤 雄二
会計管理者 ……………	興梠 貴俊	病院事務長 ……………	戸高 雄司
保健福祉総合センター事務長 ……………			林 謙一
上下水道課長 ……………	江藤 良一		
教育委員会次長兼教育総務課長 ……………			河内 晴彦
監査委員 ……………	中尾 清美		

午前10時00分開議

○事務局長（甲斐 順生事務局長） 皆様、おはようございます。御起立お願いいたします。一同、礼。

〔起立・礼〕

○事務局長（甲斐 順生事務局長） 御着席ください。

○議長（工藤 博志議員） これから本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりであります。

本日は、日之影、五ヶ瀬町より議員、事務局職員研修に見えておられます。

日程第1. 議案第89号

日程第2. 議案第90号

日程第3. 議案第91号

日程第4. 議案第92号

日程第5. 議案第93号

○議長（工藤 博志議員） 日程第1、議案第89号から、日程第5、議案第93号までの補正予算議案5件を一括議題として、質疑を行います。

質疑をされる方は、議会申合せ事項を遵守していただき、答弁者を指名して質疑願います。質疑ありませんか。磯貝助夫議員。

○議員（3番 磯貝 助夫議員） 議席番号3番、磯貝です。議案第19号、ページにつきましては37ページであります。農業振興費について、農林振興課長にお尋ねします。

環境保全型農業直接支払支援事業補助金が61万6,000円補正で上がっていますが、調べましたところ、平成30年には83万1,000円、令和元年87万9,000円、令和2年当初予算では92万8,000円が同地区に支払われております。

今回につきましても、これ中川上川登地区でありますけれども、今回もその地区への予算でありますか。お伺いします。

○議長（工藤 博志議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（甲斐 徹課長） 農林振興課長。磯貝議員の御質問にお答えします。

今質問のありました環境保全型農業直接支払事業費の補正でありますけれども、おっしゃったとおり、中川上川地区の一部の地域で交付金を支払っておりますけれども、今回、それに加えまして、下野西地区、先日、農業法人化ができたところでもありますけれども、その一部の地域で同じくこの事業に取り組むことになったために増額補正をしたものであります。

また、上川、下川地区についても面積等の見直しをしているところでございます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 磯貝助夫議員。

○議員（3番 磯貝 助夫議員） これまでやった下川につきましても、効果として環境保全型農業を行うことでコスト削減、品質向上につながったという成果を上げられております。事実上、有機農業あるいは減農薬を使った農業といったところで、集落がまとまって積極的にコスト削減等を実施している。あるいは将来を見据えた農業を行っているという大変いい事業だと考えております。

今回質問の西地区がこれに名のりを上げたというか、まとまってこれから事業を進めていこうというところであります。この地区以外、もしこういう事業を少しでも活用して、将来を見据えた農業というのができるのであれば、町としてもそういう働きかけを積極的にやっていただきたいと思いますが、今、下野西あるいは上川、中川登以外にどちらか、こういうところに名を上げてくるようなところはあるでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（甲斐 徹課長） 農林振興課長。現在のところ、環境直払いについては、名のりを上げていらっしゃる集落はありません。今後、日本の直接支払型3制度の一部でもありますので、手を挙げられた地域に関しましては啓発をしてまた取り組んでいただきたいと考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 磯貝助夫議員。

○議員（3番 磯貝 助夫議員） 制度の理解と、あと農業につきましてはいろんな制度があって、補助金等もありますので、町としても農家の方々あるいは農家を営む地域にこういう制度の徹底等、これからも図っていただきたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑ありませんか。馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 8番、馬原です。議案89号の一般会計補正について、3点ほど質問いたしたいと思いますが、まずは、企画観光課長にお伺いいたしますけれども、39ページの下の方に、新しい生活様式を取り入れたというように補正が102万3,000円組まれておりますけれども、どのような内容でしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。これにつきましては、歳入のほうにも上げておりますけれども、県の補助事業であります新しい生活様式を取り入れた自然公園誘客促進事業というものに合わせまして、これ自体は、今回はコロナの影響もありますので、屋内から屋外へという流れの中で、自然公園の景観改善等が対象となっている事業でありますけれども、これに

伴いまして高千穂峡の滝見台がありますけれども、その滝見台と上のバリアフリー滝見台がありますが、その間に、もうかなり大きくなったり、危ない木、支障木等がありますので、そのあたりの伐採を考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） その中で、令和2年度当初予算が観光地管理委託というので320万円ほど上がっておりますけれども、今回の議案集の後ろの例月監査のほうで、支払いのほうは7月に約59万、8月に67万、立木伐採ということで上がっておりますけれども、この2件は、高千穂峡ということで上がっておりますが、これはどういう関係でしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。今おっしゃった2件につきましては、同じ高千穂峡の木の伐採でありますけれども、1回目のほうは槍飛橋付近にもう腐りかけたといえますか、そういった危ない木がありまして、この時期、お客さんが少ない時期でもありましたので、この時期に切っておいたほうがよかろうということで、その危険木を伐採しております。

それと、2回目のほうは、台風の後、大きな木が遊歩道に倒れてきておりましたので、その処理ということになっております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 先ほど言いましたように、観光地委託料が年間予算で320万上がっていて、ここで補正を組んだら合計400万近く、426万になるわけなんです。

そこで、課長にお伺いというんですけど、お願いというんですけども、この委託料の420万円が伐採だけじゃなくてその他の管理にも使われていると思うんですけども、この金額が高いとか安いとかいうのは私にもちょっと計り知れないところがあるし、そういうのがあるんですけども、今まで私も議員をやっているし、土木課や農地整備課は、現地確認、中間点検とか、そして最終検査などを行っておりますけれども、今後はこういう草切りとかこういう木の伐採とか、いろいろ委託料とか補助金関係で出ておりますけれども、今現在、土木、農地以外は現地確認もされるでしょうし、電話でやっておきましたと、写真を提出される場合があると思うんですけども、そこ辺を、職員が何度かそういうことを現地確認、最終確認をすることによって、適正価格、そして付加価値、経営感覚などを身につけていくと思うんですけども、そこ辺を徹底していただけるとありがたいと思うんですけども、どうでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。こういった委託事業、その都度行います草刈

りでありますとか倒木につきましてはもちろん終わった後の点検といたしますか、検査はしているところですか。この委託料の中には、そのほかにも定期的なトイレ清掃でありますとか、三秀台、祖母山を含めまして、その辺りもありますので、その辺りのところについては定期的なものでありますので、毎回検査ということにはならないかと思っておりますけれども、草刈りでありますとか今申し上げました危険木の伐採とか、そういったものにつきましてはきちんと点検はしているところであります。今後もそのように努めたいと思っております。

○議員（8番 馬原 英治議員） よろしく申し上げます。

続きまして……。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員に申し上げます。挙手をお願いします。

○議員（8番 馬原 英治議員） はい。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 続きまして、福祉課長にお尋ねします。

35ページのほうに、上のほうに、保健衛生費の中に、延岡の夜間センターのほうに8万9,000円出ておりますけれども、ここで8万9,000円の補正の説明をお願いします。

○議長（工藤 博志議員） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（有藤 寿満課長） 福祉保険課長。質問にお答えいたします。

夜間急病センターの運営費につきまして、西臼杵3町を含めます県北の2市5町2村で運営負担を行っております。

当初で46万9,000円の予算を計上させていただいておりますけれども、そのときは全体経費の10%を対象人口割、対象人口は0歳から14歳の人口を対象としております。それと、90%が患者数の実績から算出しております。

当初予算では、前年度の実績を13名で計上しておりました。今回の補正は、昨年度の——済みません、先ほど13名は一昨年前の数値を上げております。

今回の補正は、令和元年度の実績がまとまりましたので、精算しておりますけれども、そのときの人数が18名になっております。5名分の実績がこの8万9,000円の増額になっております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） これが、この補正というのが今の課長の説明では令和元年度ということですがけれども、令和2年度のコロナ感染の時期に、この事業というのは高千穂町の町民が電話コールをして、医師が対応したりして病院を紹介したりすると思うんですがけれども、これ大体の全体の実績として、今言われましたけれども、令和2年度も大体今の高千穂町民のコール

件数がそのぐらいと思ってよろしいのでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（有藤 寿満課長） 福祉保険課長。今の実績につきましては、電話での相談の件数ではありませんで、実際、夜間に延岡の急病センターを受診された方の人数になります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 前にも議会で申し上げましたけれども、この緊急センターというのは、町民がまだまだ熟知していないところがありますし、今後、コロナ禍によりましていろんな対応を町としても迫られますけれども、それを町民に、年末年始はこういうのがありますということで、再度徹底していただきたいと思います。

町としてもそれが助かるんじゃないかと思うんですけれども、総合的にちょっと話を変えますけれども、福祉保険課での今回補正で、コロナ対策で第1次、第2次、町民への事業を行っておりますけど、町民の反応というのは課長のほうには届いてないでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（有藤 寿満課長） 福祉保険課長。今回のコロナの対策で、重心医療受診者等にマスクを1人当たり6箱を配布する事業を行いました。これにつきまして、対象者の方から電話あるいはお会いしたときに、非常に助かっていると。透析患者につきましては、週3回病院に通う中で、マスクが非常に助かるということのお話を受けております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 町長にお尋ねする前に、私個人として、一応町民のほうから3点ほどありがたいお言葉を頂きまして、1点は、5,000円の商品券に対して、当初は五ヶ瀬、日之影が早く第1次でやったおかげで、高千穂町が遅れているということでしたけれども、もらった人から二、三名、ありがたいという言葉いただきました。それに農業関係は、肥育農家の方がやっぱり牛のことを考えながらやっていただいております。

先ほど課長が言いましたように、マスクの件につきましては、一番感心したのが、説明文と励ましの文を福祉課のほうでファイルにわざわざ入れて、丁寧にしていただいたということで、ありがたいという言葉を受けております。その点、総合的に町長にお伺いしますけれども、コロナ対策を第1次、第2次やって、町民の反応としてはどういうふうに向っておられますか。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 町長。馬原英治議員の御質問にお答えいたします。

先ほど課長が申し上げましたとおり、重心医療等の対象者の方にはマスクの配布を行ったわけ

でありますけれども、私も直接、思いがけず、そのようなマスクを配布いただき、非常にありがたいというような言葉をお二人、直接お話を伺いまして、私も、その事業、福祉のほうで考えて実施したわけですが、効果があったなと思いますし、安心感につながるという部分が大きかったんじゃないかなというふうに思っております。

また、農業関係につきましても肥育農家のマルキンで対応できない1割分の支援ということでありますけれども、最近ではちょっと少し枝肉価格も上がってきたということで、発動も止まってくるんじゃないかなというふうに思っているところでありますけれども、非常に助かっているというふうに聞いておりますし、また、これとは関係ないですけれども、町内の肥育農家の方についても牛の輸送費等も支援をしているわけでありまして、それについてもありがたいというお声を頂いております。

また、5,000円の商品券につきましても、小売店に私が買物に行ったときに、あれを配布した直後、あれを使って来店される方が非常に多いので、非常にありがたいというふうにお声を頂いたところです。

このまま終息に向かうことを望むわけですが、また、そのような声もいただきながらの中で、今後どのような形になるか分かりませんが、そのような生の声を聞いて、今後必要があればまた対応していかないとはいけませんけれども、国の動向を見ながらまた対応していきたいと思っております。町民の皆さんの声をしっかり聞きながら対応策を考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 今の町長のお言葉ですが、今後とも、これがいつまで続くか分かりませんが、やっぱり町民の声というのは大事だと思うんですが、そこら辺をお願いいたします。

3点目に、財政課長に同じく89号でお伺いいたしますけれども、25ページ、これが、財政調整基金繰入金が2,890万ほど出ておりますし、29ページには、これが同じく財政調整基金の積立て、22万5,000円が出ておりますけれども、これは基金の利息ではないかと思うんですが、御説明をお願いいたします。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（佐藤 英次課長） 財政課長。馬原議員の御質問にお答えいたします。

財政調整基金の繰入金につきましては、現在までに、今回まで入れまして5回の補正を行っております。現在の繰入金はこの分まで御承認いただきましたところで、3億378万7,000円というふうになっております。

そして、先ほどもう一件の質問につきましては、基金についての利息でございます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） やっぱり財政調整基金というのは、当初2億2,600万ほど組んでおられますし、これがコロナ対策で、新聞報道によりますと、高千穂町は大体15億ぐらい使ったと思うんですけども、実際に高千穂町が自主財源を15億のうち出された金額はどのくらいでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（佐藤 英次課長） 財政課長。コロナ対策につきましては、特別給付金10万円を除きまして、今までに予算額ベースで4億9,165万3,000円を計上しております。事業によりまして既に支出の済んだもの、まだ事業途中のもの等ございますけれども、そこまでで町の一般財源を充当しているものが1,986万2,000円となっております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） この補正議案が通って、財政調整基金の残高も11億余りになってくると思うんですけども、その中で、来年度を見通して税務課長にちょっとお伺いいたしますけれども、町税がだいぶ予算当初よりか減ってくると思うんですけども、大体その辺の、というのが減るとというのが分かれば教えていただきたいと思うんです。

○議長（工藤 博志議員） 税務課長。

○税務課長（須藤 浩文課長） 馬原議員の質問にお答えします。

御質問のとおり、やはり今回、コロナ感染症の影響を受けて税収は減るということに考えています。特に、個人の住民税、法人税あたりは非常に厳しい状況になるかと思えます。また固定資産税につきましても、国の地方税法改正により、事業用の家屋償却資産についても減額する個人、法人が出てくると思えます。

見込みとしましては、まだ財政査定を受けていない状況ですので、3月には正式にはお示しができるかと思えますが、現時点では、今年度の予算額の10%から15%ぐらいの減額は避けられないんでないかと考えているところです。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 馬原英治議員。

○議員（8番 馬原 英治議員） 最後に、財政課長と町長の意見を伺って終わりたいと思うんですけども、本年度の財政基金の一般会計の繰入金で2億円余りになると思うんですけども、今後も大型事業とかいろいろな面で、町債発行とか収入減という財政状況がすごく悪化するとい

うことが予想されますけれども、最終的にこの基金が10億円を切るとなると非常に難しい運営が迫られてくると思っているんですけれども、今後、事業推進や町民サービスが後退することがないように、本年度の予算編成をしていただきたいと思います、その点はどうか。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） お答えいたします。

確かに財政調整基金も目減りしているということでありまして、非常に、そこをどう対応しようかということについては知恵を絞っているところでもありますけれども、現在、第6次高千穂町総合長期計画、そして第2期のまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定作業を進めているところでもありますけれども、この地方創生に関する総合戦略を早く固めまして、そして、できましたら地域再生計画というものに取りまとめまして、高千穂町が来年度取り組んでいこうとする大型事業等、いろんな新しい事業もやっていきたいと思う中で、財源はどうするんだという話がいつも課題なわけですけれども、その地方創生推進交付金を様々な町単独事業を取りまとめて、国の交付金を活用してできないかなということを今考えているところです。ですので、新たな財源をどう確保するかということが一番の課題だというふうに思っております。

新たな取組として、そういった今まで単独でやっていたような事業を今後の高千穂町の方針、地域活性化の事業を取りまとめて国の交付金を活用するといったことができないかということも今考えております。

また、ふるさと納税を増やしていくということももちろん今取り組んでいこうとしておりますけれども、あと職員の知恵と工夫をとということを開会時に申しあげましたけれども、職員提案制度というのを今年度から本格的に回し始めておりまして、職員から17件の提案があり、1次審査、2次審査を経まして、優秀なものについては、お金のかからないようなものからかかるようなものもありますけれども、職員のよりやる気を引き出すという、効率的な事業展開ができるようにというところ、そして財源の確保、そして有効な事業を立案していくというところで、財源不足を補い、また新しい財源を確保していくというところで、職員の士気も上げていくというところで、財源の不足を補うような事業展開ができないかなということも考えているところです。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（佐藤 英次課長） 財政課長。来年度の予算につきましての御質問でありましたので、状況についてちょっとお話をさせていただこうと思っております。

11月末で各課の予算要求を取りまとめまして、現在のところ、歳入から歳出のそれぞれ予算を引きますと、町税の減収、地方交付税の減収等を見込んでおりまして、約9億3,800万ぐらい今のところ財源が不足しているような状況になっております。昨日から予算査定に入ってお

りますけれども、かなり危機感を持って査定に臨んでいるところです。

特に、財政調整基金が、先ほどおっしゃられたように、10億円を切るのが目前になっているところで、なるべくこの財政調整基金には手をつけず、ほかにも特定目的基金が、特に公共施設等整備基金等がありますので、そういうのを有効に使ったり、ほかにも財源があるものについては財源を見つれたり、各課と協議をする上で、この財政調整基金のほうはなるべく手をつけたくないような形で臨んでいきたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑ありませんか。富高友子議員。

○議員（13番 富高 友子議員） 13番、富高です。一般会計89号について、衛生費について、病院事務長にお伺いいたします。

県では、衛生費補正で63億9,000万円がコロナ対策で予算化されておりますが、今回、新しく保険薬局従事者にも慰労金が、交付金が追加されております。県の病院では、給食で働く方とか清掃で働く方、介護施設もですけれども、そういう方にも今回慰労金が出されるようです。

県へ予算要求をすれば、自治体は頂けるということですが、今回はどうされたのかお聞きしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 病院事務長。

○病院事務長（戸高 雄司事務長） 病院事務長。今回の補正では上げておりませんが、前回の補正で病院の慰労金ということで上げさせていただいた中に、病院職員、あと清掃、医事、給食等、全て建物内に従事されている職員につきましては配布済みであります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 富高友子議員。

○議員（13番 富高 友子議員） 今回の衛生費では、接種体制確保事業費として補助金が600万円でしたので、予算化されていないと思ったのでお聞きしたところでございますが、8月の臨時議会のときに説明は一応受けていたんですけども、詳しく受けてなかったものですかもう一度お聞きしたいと思います。4,340万円が医療従事者の慰労金として承認を私たちがしたところでございますが、この詳しい中身を教えてくださいたいと思います。教えられる範囲で結構ですので。

○議長（工藤 博志議員） 病院事務長。

○病院事務長（戸高 雄司事務長） 病院事務長。前回、補正に上げました金額につきましては、先ほど申し上げました病院のドクター、看護師、その他事務職員、それと、あとは建物内に従事していただいております委託会社の職員、ニチイの職員です。それと清掃業者の職員、あと給食室で従事されています職員、全ての方に一律20万の慰労金を支払っているところであります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 富高友子議員。

○議員（13番 富高 友子議員） 全員への支給はとても良いことでありますし、コロナのリスクを背負いながら頑張っている、現場で働いている職員の方にとっても力強いというか、心強いことであり、希望を持ってやる気を出して頑張ってくださいることと思いますので、今後とも職員も元気づけて頑張っていたいただきたいと思います。

それと、町長へ質問をさせていただきたいんですが、こういうふうにはコロナ対策で大変職員も町長も、皆さん頑張っておられる中で、まだまだ行き届いてない部分もあると思います。今後とも国からそういう事業が来た場合には、子供たちを今コロナから守っておる感染予防対策をしながら一生懸命頑張っておられる保育園や幼稚園、そして学校の職員も慰労金を出していただけないかなと考えた次第ですが、今後、そういうお考えがあるかお聞きしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 何をするにも財源が伴いますので、なかなか町単独でというのは少し難しい部分があるのかなというふうに思います。

コロナの対応ということについては、もう全ての人たちが対象なわけでありますので、国の事業の中でそういったところが出てくれば対応したいと思いますけれども、今のところ町単独でというのは少し難しい部分があるのかなというふうに思っているところであります。

財源不足という課題と、少しでも手厚いケアをできればということの中で悩むところでありまして、今のところ、国・県等の財源がない中ではなかなかその対応というのは難しいんじゃないかなと私は考えているところであります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 富高友子議員。

○議員（13番 富高 友子議員） 今からコロナがどうなるか、とても心配で、ここにいる全体で思っておられることだと思いますが、もちろん単独では私は無理だと思いますので、国からそういう助成とかが来たときはぜひお願いしたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。佐藤久生議員。

○議員（9番 佐藤 久生議員） 9番、佐藤です。企画観光課長にお尋ねいたします。

89号の39ページで、工事請負費で2,100万、天岩戸の湯の改修工事が組んでありますが、これの内訳をお願いいたします。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。この工事請負費につきましては、高千穂の湯

が3月いっぱいまで閉館するというところで、天岩戸の湯を少し拡充する必要があるのではないかと
いうところで予定をしているところであります。

内容としましては、男女ともにサウナ室の拡幅、それと浴槽に電気風呂の設置を考えておりま
す。それに併せて、駐車場が随分下の段になりまして、階段もありますので、そこに手すりをつ
ける工事を含めた外構工事、それと、外にトイレがありますけれども、これが和式というか、そ
のままです。これ全てではなくて一部、男女兼用の洋式、多目的のようなトイレにしたいと、
そういった工事を考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 佐藤久生議員。

○議員（9番 佐藤 久生議員） そのサウナ室の改修で、機械は入れ替えなくてよろしいんです
か。サウナの機械。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。サウナ室が広がりますとやはりそれに合わ
せた機械というか、そういったものも必要になりますので、そこあたりも含めた形の補正という
ことにしております。

○議長（工藤 博志議員） 佐藤久生議員。

○議員（9番 佐藤 久生議員） 高千穂の湯がなくなるということでもありますので、そこ辺のと
ころは、私のところ、うちんとか、非常に風呂好きがおりますから、特にサウナ好きであります
のでよろしくお願ひしたいと思ひます。これは自分ところのこつを言うちゃいかんとですが。

それでは、次に同じ補正予算で農林振興課長……、の林業振興費の中で、報償費が600万組
んでありますが、この600万は、早く言えばイノシシとか鹿が捕れたというような解釈でよろ
しいですか。

○議長（工藤 博志議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（甲斐 徹課長） 農林振興課長。この報償金につきましては、佐藤久生議員の
おっしゃるとおり、イノシシ、鹿の捕れ高に対する報償金であります。

当初見込みよりも、昨年並みの頭数が捕れるだろうということで今回計上しております。

○議員（9番 佐藤 久生議員） よろしいです。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑ありませんか。佐藤さつき議員。

○議員（1番 佐藤さつき議員） 議席番号1番、佐藤です。89号の補正に関して質問します。

3点ほど質問したいんですけれども、まず1点目は、先ほど佐藤久生議員が言われた温泉
の……、岩戸の湯の改修工事なんですけど、新しくできるところとかがあってとても楽しみな点
はあるのですが、月例監査で修繕費がもう今、年間予算340万ほどの岩戸の湯の修繕費の予算が

とってあるのが、もう200万ぐらいは月例監査でいろんな修繕が出ています。新しく電気風呂やサウナなどを改修することによって修繕費がまた圧迫するとか、そういうのはないんでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。修繕につきましては、当初予算では、できればしたほうがいいといいますか、古くなっている部分とかを予算に上げておりますけれども、必要に応じてその都度改修をしているわけでありまして、特にこのことによってそこに影響があるということはないというふうに考えております。

○議長（工藤 博志議員） 佐藤さつき議員。

○議員（1番 佐藤さつき議員） 現状、令和3年3月で、高千穂の湯のほうが開館ということで、月例監査のほうでは、高千穂の湯のほうで修繕、去年は修繕が毎月結構出ていたんですけども、今は修繕がなく進んでいるようです。

岩戸の湯のほうも、修繕も精査すればもうちょい、うまい修繕があるのではないかなという感じもしますんですけども、その点はどうでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。高千穂の湯につきましては、もうなかなか大きい修繕については少し、何とか3月までもてればということで考えております。その中で、岩戸につきましては、先ほど申しましたように、もう必要に応じてということでありますので、そこについてはそういうことで今現状やっております。

○議長（工藤 博志議員） 佐藤さつき議員。

○議員（1番 佐藤さつき議員） 修繕に関しても一応チェック精査をしながら進めていっていただければ無駄な経費がちょっとでも節約できるのではないかなと感じています。

2点目の質問ですが、同じく89号補正に関してですが、43ページの教育費のところの委託料で、高校魅力化調査委託料とありますが、これはどこに委託をして、調査の内容とか、この詳細はどのようなものでしょうか。教育次長、お願いします。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

高校魅力化事業調査委託料でありますけれども、中身としましては、前から言われております公設塾の、これを実施するかどうかということで、事前の調査ということで、保護者に対するアンケートとかあるいは学校側との合意形成とか、そういったものやっていく内容になっておりますけれども、具体的にはオープンスクールとかそういったものを通じて公設塾がどういったものかというものをまず理解してもらおうというか、そういったことをやっています。

この事業を行ってもらおう会社ですけれども、Birth47（バースヨンナナ）という会社で、本社は北海道の札幌にあります。そちらのほうの会社に請け負ってもらおうということになっております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 佐藤さつき議員。

○議員（1番 佐藤さつき議員） 北海道の業者ということですが、それを選ぶに当たっては何か目玉があったとか、そこを選んだ基準は何でしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。Birth47を選んだ理由と伺いますか、全国的に公設塾を展開しておりまして、件数的にはそんなに多くはないんですけれども、全国で10か所ぐらいやっております、九州管内では大分県の玖珠町のほうでやっております。

そういった実績ですか、そういったところをいろいろと検討したところ、ほかに同じような会社とか、やっているところがないということで、今のところBirth47のほうでやってもらいたいというふうに考えているところです。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 佐藤さつき議員。

○議員（1番 佐藤さつき議員） 高校魅力化検討委員会、新しく立ち上がったものが3町であると思うんですけれども、今までのように町単独で考えるのではなく、3町で考えるということ、進めていくということも進んでおりますようなので、定員も減って、西臼杵の子供たちの数も減ってきているし、高校入学者も減ってきて、やはり存続はしますが、魅力化という点でなかなか表に出てくることがないので、できるだけ早く進めていただけたらと思っております。お願いします。

3点目の質問ですが、同じく89号補正に関してですけれども、35ページの、先ほども少し出てきましたが、新型コロナウイルス接種体制確保事業の詳細を教えていただけたらと思っております。

○議長（工藤 博志議員） 保健センター事務長。

○保健福祉総合センター事務長（林 謙一事務長） 保健センター事務長。佐藤さつき議員の御質問にお答えいたします。

今回の補正につきましては、新型コロナウイルスワクチンの接種体制を整えておくための予算計上ではありますが、これにつきましては、国のほうからの通知で、ワクチンについては開発が進展している状況にありますけれども、不確定な要素もあるということで、接種の開始の時期を具体的に定めることは困難ということの通知が来ております。

ただ、仮に来年初頭にワクチンの供給が可能となった場合には、速やかに住民に接種できるように、市町村のほうにおいても準備を進めておく必要があるということで、その通知が来ております。

そのために、今回の補正につきましては、昨年度、成人の男性を対象とした風疹の予防接種を行っているんですけども、その予算を参考に、今回必要な予算として会計年度任用職員の報酬、それから受診券の印刷代とか郵送代、また健康管理システムの改修の委託料ということで上げさせていただきます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 佐藤さつき議員。

○議員（1番 佐藤さつき議員） なかなかワクチンの接種というところまでは長期的に今すぐということではないような日本の国の様子みたいなので、どの程度の内容かなと伺ったところでした。

てっきりコロナウイルスのワクチン接種がまだまだ先なので、インフルエンザのワクチン接種をされている方が多いので、その辺もカバーできるものかと考えたんですが、関連してですが、今インフルエンザワクチンが足りていないという、町病院で接種が今できない状況ですが、例年からどの程度足りていないのか。また、町民の方々はインフルエンザのワクチン接種が年内にできるのか、その点だけ分かれば教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 病院事務長。

○病院事務長（戸高 雄司事務長） 病院事務長。ただいまの質問にお答えいたします。

はっきりとした数字は手持ちにありませんのでお答えできませんが、本年度はインフルエンザの予防接種の受診者が非常に多くて、今現在、町立病院におきましても中止をしているところがありますが、ワクチンの量は昨年同様、発注はしておりましたが、業者から病院側に入るワクチンの数がもうないということで、正式にはまだ出しておりませんが、もう今年度のワクチン接種は中止にせざるを得ないかなと考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 佐藤さつき議員。

○議員（1番 佐藤さつき議員） 分かりました。またできるようになった連絡を心待ちにしています。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。本願和茂議員。

○議員（6番 本願 和茂議員） 議席番号6番、本願です。同じく議案89号について伺ってきたいと思います。

まず初めに、27ページの雑入に、岩戸消火栓移設補償費とあるんですけども、歳出のほうの消防費を見ると、防火水槽の建設工事とポンプ庫建設等補助金に使われているんですけども、消火栓の移設については詳細がないんですけども、これについてお伺いしたいと思います。総務課長、お願いします。

○議長（工藤 博志議員） 総務課長。

○総務課長（石淵 敦司課長） 総務課長。岩戸の消火栓の移転補償費については、9月補正でもう既に、これは6月だったか…、いただいて、移転工事は終了しております。

これは天岩戸に県工事の歩道橋を設置してもらっているんですけども、この歩道橋の設置に関し、支障があるということで移転をしたわけなんですけども、移転費については全額県のほうから補償をいただけるということで、今回、移転工事が終わって、補償額が確定しましたので、今回補正で歳入のほうを上げさせていただいたということでもあります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 本願和茂議員。

○議員（6番 本願 和茂議員） 分かりました。

次の伺いたいところは、農林振興課長に伺いたいと思います。37ページの高千穂町営農継続補助金交付金事業の補正予算1,310万6,000円なんですけども、個人的に申請が多くて、事業どおりに対応がちょっと厳しいんじゃないかということは聞いていましたが、この補正については申請があったとおりに、当初の事業内容とおりに申請者に補助金が交付されるための補正内容なのか伺いたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（甲斐 徹課長） 農林振興課長。本願議員の御質問にお答えします。

この高千穂町営農継続補助金に関しましては、当初、2,000万円の要求額でした。その後、要求の後に申請受付をしたところ、全部で257件の申請要望があったところでありまして、その想定が約100件ほどというふうに考えておりましたので、かなりの数がオーバーしたと、評価しているということで、財源が非常にない中で協議をしたところでありまして。

最終的には、臨時交付金の中で調整をするということになりまして、若干、限度額、上限額、それと補助率に関しましては、申請のときにもお伝えしておったんですけども、若干目減りするということは考慮しておいてくださいということで進めたわけですけども、現在、一応計画では、この補正で上限が15万円と。それと補助率5分の3以内ということで、申請の方々にはお伝えしたいと考えているところでございます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 本願和茂議員。

○議員（6番 本願 和茂議員） 当初の事業内容どおりに補助が出されそうだとということなので安心しておりますが、まだコロナが終息したわけではありませんで、今後も生産者、農業者の状況を見ながら対応していただきたいと思ひます。

あと、その下に、生産性向上飼養環境改善事業補助金についても補正が組まれているわけでありすけれども、この事業についてはあくまでも増頭が目的となっておりますけれども、実際申請されて補助金を受けられた方が確実に増頭がなされているのか、ちょっと詳細について農林振興課長に伺いたひと思ひます。

○議長（工藤 博志議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（甲斐 徹課長） 農林振興課長。今回の補正につきましては、当初予算で250万円計上していたところでありすけれども、この補助金に関しましては、コロナ禍ではありすけれども、牛の増頭、畜産に関して非常に皆さん関心が深いということで、かなりの補助金の要望があります。ただ、今本願議員の言われた飼育頭数の増頭ということで皆さん申請はされているとは思ひすけれども、その各一つ一つについての詳細な調査は今のところまだ終わっていないところでありす。今後、担当と相談した後に、増頭の希望等を確認したいと考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 本願和茂議員。

○議員（6番 本願 和茂議員） 増頭が目的となっておりますけれども、現状からいくと増頭も難しい時代でありすので、現状維持も含めて、そういった緩和も含めて今後この事業の展開をしていただきたいと思ひます。

あと次に、2ページにわたるんですけれども、35ページに保健衛生総務費の中に委託料で雨漏り補修委託料が上がっています。そして、その1つ前のページの33ページの障害福祉費備品委託料の中にも雨漏り修理委託料とありすけれども、今年の台風等で雨漏りが各施設で発生したのか、それとも以前から雨漏りをしているところに修理をして、今回2つ重なったのか。各担当はどこになるのかちょっと分かりませんけれども、説明のほうをお願いしたいと思ひます。

そして、その項目が修理委託と補修委託となっているんで、ちょっと意味合いも違うと思うんですけれども、それも含めて説明をお願いしたいと思ひます。

○議長（工藤 博志議員） 福祉保険課長。

○福祉保険課長（有藤 寿満課長） 福祉保険課長。9月6日に襲来しました台風10号のときに雨漏りが発生しました。1か所が子育て支援センターの建物の中に西臼杵子ども障害者ネットワークセンターというのが入っておりますけれども、この建物については、以前から雨漏りがしてありまして、今回の修繕した箇所につきましてはネットワークセンターが入っている部屋に雨

漏りが新たにまた始まったということで、これにつきましては修繕する場所がほぼ確定されましたので、今回、修繕という形でやらせていただこうと思っております。

あともう一か所が高千穂産婦人科診療所についてです。これも同じく台風10号で雨漏りが始まりました。これにつきましては、今までは雨漏りがなかったところにまた新たに雨漏りが始まったということで、同じく修繕という形でやらせていただいております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 本願和茂議員。

○議員（6番 本願 和茂議員） 少しちょっと話が飛びますけれども、病院事務長に伺います。

町病院もどこか雨漏りがしていると聞くんですけども、町病院のほうの雨漏りの対策はなされているんでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 病院事務長。

○病院事務長（戸高 雄司事務長） 病院事務長。町立病院のほうの雨漏りにつきましては、全て今漏れているところがトップライトのところからの雨漏りですので、トップライトの取替え等の大がかりな工事をしないとできませんが、今のところは、雨が降っているときには清掃員の方がタオル等を敷いての対応をしているところではありますが、建物ももう20年を過ぎていまして、町立病院のほうも20年を過ぎていますので、至るところに修繕箇所が出てきているかと思いますが、現在のところは現在の対応でいきたいと思っております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 本願和茂議員。

○議員（6番 本願 和茂議員） 分かりました。患者の方も通行されるかと思うので、安全に来院できるように、対応していただきたいと思えます。

最後になります。43ページの田原中学校閉校記念行事等負担金があります。説明で、この中に田原中学校が閉校して高千穂中学校に統合することに対応するために、調理器具かなにかを購入したというのもこの中に入っているという説明であったと思うんですけども、この購入費については、将来、上野中学校の統合を見据えた対応できる機材を入れられるのか、教育次長に伺います。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。本願議員の御質問にお答えいたします。

まず、43ページの田原中学校閉校記念行事の負担金でありますけれども、これは純粋に記念式典に係る経費であります。主なものとしましては、式典の経費として約40万、それから、記念誌の作成で190万弱、それから記念碑を造りますけれども、それが108万1,000円ということで、合計の337万3,000円を計上しております。

言われた給食調理のほうですけれども、これにつきましては、予算書の45ページの上のほうになりますけれども、備品購入費とありますけれども、このほうに田原中学校が閉校になって田原中学校の生徒が高千穂中学校に来る関係で人数が増えますので、今現在の調理器具ではぎりぎり、やっとできているということで、田原中学校から来年度移ってくる生徒が最大で29名というふうに見ています。

高千穂中学校自体の令和3年度の生徒数が今現在よりも24名増えるということで、合わせて53名生徒が増えるというふうに見込んでおります。本年度の人数からしますと生徒数が2割増しということになりますので、現在の調理器具では対応できないということで、それを見越しての調理器具の調達ということになります。

上野中学校の将来の統廃合を見据えているのかということに関しましては、今後の上野中学校の生徒数を考えたときに、これから5年ぐらいは横ばいということで、早々の統廃合という話には地区座談会を通した感触としては、しばらくはないのかな。上野中の統廃合についてはちょっとすぐにはないのかなということで、上野中の生徒が来たときのことは、今回のには想定しておりませんが、人数次第では対応できるのかなというふうには考えているところであります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 本願和茂議員。

○議員（6番 本願 和茂議員） 分かりました。地元の意思も尊重しなければなりませんから、執行側のほうが、役場のほうが準備を進めるのもおかしいと思いますので、今後も慎重に統廃合に向くように働きかけをしていただきたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ここで、11時10分まで休憩します。

午前11時04分休憩

.....

午前11時10分再開

○議長（工藤 博志議員） 休憩前に続き会議を開きます。

ほかに質疑ありませんか。中島早苗議員。

○議員（7番 中島 早苗議員） 7番、中島です。病院事務長にお聞きいたします。

議案93号です。91ページと92ページにまたがっているんですけども、医師の住宅の売却ということで、98万と147万というふうに出ていますけれども、これは合わせての医師住宅の価格でしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 病院事務長。

○病院事務長（戸高 雄司事務長） 病院事務長。御質問にお答えいたします。

ただいま中島議員よりありましたとおり、今回、平和町の医師住宅、もうこれ、現在一般の方に貸しておりました住宅ですが、購入したいということでしたので、売却をしておりますが、土地自体につきましては町の所有ですので、土地代といたしましては一般会計のほうに繰入れになっていると思います。病院のほうで上げていますのが建物のほうの分ということで、これ、こちらの会計上、2つに分けておりますが、トータルが売却費となっております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 中島早苗議員。

○議員（7番 中島 早苗議員） それでは、財政課の課長にお聞きしますけれども、この土地の代金は一体どのくらいのお値段なんでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 財政課長。

○財政課長（佐藤 英次課長） 財政課長。中島議員の御質問にお答えいたします。

土地、建物を含めたところの金額が451万円です。土地につきまして338万2,000円、建物につきまして112万8,000円という内訳になっております。

今回、建物につきましては病院のほうとして計上されておりますけれども、まだ一般会計のほうとしては3月議会に補正予算で計上しようと考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 中島早苗議員。

○議員（7番 中島 早苗議員） はい、分かりました。本当に、この前のさつき議員の一般住宅というか、余っているような町の住宅をしっかりと皆さんに活用できるような状況をとっていただきたいという話もあったことですし、今回のこのような建物の売却ということについて、本当に良かったなというふうに思います。

また、こういう売却可能なおうちがありましたら、ぜひ売却、活用していただきたいと思えます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑はありませんか。磯貝助夫議員。

○議員（3番 磯貝 助夫議員） 議席番号3番、磯貝です。議案89号、ページにつきましては38ページであります。林業振興事業費ということで、先ほども他の議員のほうから、有害鳥獣被害防止対策事業というところでの内容につきましては理解をいたしました。

議案とはちょっと離れますけれども、今、高千穂町における有害駆除班の人員はどのぐらいいるのか。あるいは、免許を取得して有害駆除班に、三田井地区については5年間たたないと入れませんよとか、岩戸地区については1年たてばもう入っていいでしょうか、そういうばらつきがあることによって、県あるいは町としてのそういうところへの、要は免許取得者も減っていく

中で、一刻でも早く有害駆除班に入ってもらって有害駆除に活躍してもらおうということが必要ではないかと思うんですが、農林振興課長にお尋ねします。この制度の創設は、町ではやっているんでしょうか。

○議長（工藤 博志議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（甲斐 徹課長） 農林振興課長。磯貝議員の御質問にお答えいたします。

有害駆除班の詳細な構成人数については、ちょっと詳細な資料を持ってきておりませんので、後ほどお知らせしたいとは思いますが、猟銃の使用の件だと思いますけれども、その件に関しましては、先月、高千穂町の有害獣駆除班の班長会議を実施いたしまして、その中で、3年間は猟銃での猟はお控えくださいというようなことだと思うんですけれども、その件に関して、県のガイドラインでそれが特例として猟銃の使用を認めるというようなところがあります。けれども、それは特例であって、猟銃の事故ということを考えますと、なかなかそこは、特例だからといって安易に認めるというのはいかがなものかということで議論をいたしましたところ、現在のところ、そのままガイドラインどおり3年間は控えていただくというような結果が出ております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 磯貝助夫議員。

○議員（3番 磯貝 助夫議員） はい、分かりました。

私も昨年、猟銃あるいはわなの免許を取りましたので、三田井の今猟友会に入っております。三田井が今5年間しないと有害駆除班に入れないよということでありまして、できれば町からも御指導いただいて、3年という基準に皆さんを合わせていただいて、少しでも早く、私も有害駆除というところに協力したいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑ありませんか。板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 2番、板倉です。同じく89号についてお伺いします。

最初、29ページです。29ページ、広報費の中の使用料及び賃借料のところ、合成音声ソフトとありますが、これについての説明を企画観光課長、お願いします。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。これにつきましては、今現在は職員のほうでIP告知端末防災行政無線の放送を行っておりますけれども、来年からデジタル防災無線のほうに入れ替えを行っていくことになっておりますが、これについて、もう次からは自動音声为标准のパッケージとなっているということになっていくようであります。それに伴いまして、今回、この自動音声のソフトを入れたのは、事務の効率化ということもありますけれども、その後に現

在予定をしておりますLINEアカウントであったり、町のホームページの読み上げ、そのあたりも活用したいということで予定をしております。それとあとは、テレビ高千穂にも今放送を流しておりますけれども、いろいろナレーションが入れられるのではないかと考えております。

事務の効率化ということを申し上げましたけれども、これは決まった様式に文書を打ち込めば、それを自動的に読み上げるということで、この辺り、一応チェックは必要でしょうけれども、各課からのお知らせであったりと、そういうものについてはそういった形で少し効率化を図れるのではないかとこのように考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 今、人の声で録音して無線で流しているのを、今後、機械音声でしていくと。それによって事務の効率化を図るということで、非常にいいことだなというふうに思っています。

ただ、一方で少し気になりましたのが、今コロナで難しいですが、これまでずっと高校生の放送部の夜放送ですとか、中学生が職場体験に来たときに放送したりというような取り組みもしてきました。今後、自動音声に切り替わった後に、そうした高校生、中学生の放送の取り組みがどうなるのかお伺いしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。その点については、まだ具体的な検討をしていないところではありますけれども、デジタル防災無線のほうがそのあたり、人の声が許されるのかどうかといいますか、そこ辺りができるかどうか、その辺りも調査をして、できればそういった機会は設けてあげられればというふうにも考えておりますので、今後検討させていただきたいと思っております。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） ぜひ、そうした高校生とか中学生の取り組みについては継続していただければというふうに思っています。

私たち議会側も、議会だよりというのを毎回出しているんですけども、いかに手に取ってもらって読んでもらうかというところで今いろいろ工夫をしまして、その中の取り組みとして、やはり議会だよりの中に子供を載せたりとか、そういうことを取り組んでいます。

放送のほうも、ずっと同じ音声だけではなくて、たまにそうした高校生だったり中学生の声による放送なら、より多くの人に聞いてもらえるのかなというふうに思っていますので、ぜひ継続していただければというふうに思います。

あともう一点お伺いしたいのが、今、町内の放送でいいますと、高千穂町からと、あと農協からがありますけれども、町からの放送はそういう自動音声になるんだろうと思うんですが、今後、農協からの放送がどうなるのかお教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。防災行政無線の入れ替えに伴いまして、IP告知端末をなくすということにしておりますので、それにつきましては、農協のほうからも放送ができるようにするというにはなっておるようであります。

先ほど申しましたように、そこ辺りがまだ具体的に決まっていないとか、標準のパッケージがありますので、恐らくそちらのほうも自動音声になるのかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 分かりました。デジタル化の動きはもう既に始まっていますので、その辺り、少しでも、実際にどうなるのかというのが私も分からないところがありますので、実際どうなるのかというところを分かり次第周知していただければというふうに思います。

次に、ページでいうと39ページです。先ほどもありましたが、天岩戸の湯の改修工事について、企画観光課長にお尋ねします。

その改修工事の一つに、駐車場から天岩戸の湯に向けての階段のところの手すりをつけるという内容のものもあったということなんですが、確かに天岩戸の湯については駐車場から天岩戸の湯が結構な段差があるので、手すりが必要だなというふうに思うんですが、今、実情を思い返すと、結構天岩戸の湯の前に、あそこの道端に止めて利用されている方もおられると思います。

今後、高千穂の湯も閉館となった場合に、天岩戸の湯の利用者が増えるだろうと思うんですが、そのときに、高齢の方とか足の悪い方を優先して天岩戸の湯の前に止めるようにして、それ以外の方はもう必ず駐車場に止めていただくような、そういう取り組みをしないといけないなというふうに思っているんですが、その辺りの整備とか、お考えがあればお教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。先ほど、主なものとして手すりの設置を申し上げましたけれども、それに含めて、外構工事ということも計画をしておりますので、おっしゃいますように、上の段、なかなか広げることは難しいということでもありますので、今、昔のかまど跡といいますか、その辺りの遺跡といいますか、そういったものが残してあるんですが、そういったものも許可を得て移設をして、玄関前のところも少しそういったことで整備をしたいというふうには考えております。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） ぜひそういう整備をしていただいて、ちょっと足の悪いような方でも天岩戸の湯をきちんと利用できるような整備をお願いしたいと思います。

あともう一点、その関連で、サウナの拡張工事もするということがあったんですが、この工事がいつ始まっていつ終わるのかという、予定が既にあるのであればお教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。これにつきましては、高千穂の湯が開いている間に、工事については閉館を、天岩戸の湯の閉館をしての工事ということになりますので、補正が承認いただければ次第準備をしまして、来年1月から3月にかけて工事を行いたいというふうに考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 私は、その点が気になっていました。今年度中に終わるということだったので安心しました。予定どおり工事が進むようにお願いしたいと思います。

続いて、農林振興課長にお尋ねしたいと思います。ページでいうと議案集の25ページになります。25ページで、財産収入について、農林水産物直販売上収入が3,528万の減、食材供給施設売上収入が1,658万の減、合計で道の駅の売上げになるんですが、道の駅の売上げが5,186万の減ということになっています。

当初予算では、この2つを合わせて合計でざっくりと1億5,000万ほどの収入を見込んでいたと思うんですけども、その1億5,000万のうち今回5,000万ぐらいが売上げが減っているということで、1年の売上げの3分の1がもう減ったということになるのかと思います。

これはこれで、本当に今年度についてはコロナの影響で仕方ないところがあると思うんですが、ただ、これを今後、道の駅をどうしていくか。つまり、コロナのような感染症にどのように道の駅と対応するのかというところが問われるのかなというふうに考えています。

そこで、私なりに、素人なりに考えたことを少し共有できればと思うんですけども、1点目が、自動ドアの設置です。今の道の駅、自動ドアのところもあるんですが、全ての扉が自動ドアになっていなくて、手動で開け閉めする扉もあります。

やはり今回コロナで取り上げられた感染の原因の1つにそういうドアノブとかそういうのも感染のリスクがあるということでした。それを考えたときに、道の駅がコロナにも対応する施設になるためには、人が出入りする扉を自動ドアにするということが必要になるのかなというふうに考えているのですが、今のところの予定でいいんですが、そういった自動ドア化するというお考えがあるのかどうか、農林振興課長にお尋ねしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（甲斐 徹課長） 農林振興課長。板倉議員の御質問にお答えします。

現在、道の駅の売上げは非常に厳しいものがありまして、5月とかは売上げが昨年比の10%台と。また、11月に関しましてはG o T o関係の影響もありまして、9割程度に回復したという経緯があります。

おっしゃられるとおり、コロナ禍で人等の接触、触ったところで感染するおそれもあるのではないかと考えておりますけれども、これまではそういう感染症のことに関しましてあまり検討がなされてなかったと思っておりますけれども、ふだんでも売場のほう、物産館のほうは特に手動でしか扉が開けられないというところが、これまでほかの施設とかに比べると整備が進んでいないのかなということは感じております。財源的に許されれば、福祉的な観点にも立ちながらそういう改修が必要なのかなというふうに考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） ぜひ検討いただければというふうに思います。

そして、2点目なんですけれども、このコロナで広がっているものの1つがキャッシュレス決済です。つまり、お金を手から手に渡すことについてもやはり感染リスクになるということで、キャッシュレス決済が非常に普及しているわけなんですけれども、現在の道の駅について、そういうキャッシュレスだったりクレジットカードも含めて、そうした多様な決済に対応しているのかどうか。まず現状をお教えいただきたいのと、今後どういうお考えがあるのかについてお伺いしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（甲斐 徹課長） 農林振興課長。今、質問のあった内容でございますけれども、現在、ほとんどが現金の取引といいますか、お金を手で取り扱う体制を取っております。また、クレジット等も今のところ道の駅に関してはまだないということですが、昨年、電子化ということ、ほかのキャッシュレス決済が出てきたということで、時代の流れに少しでもそぐうようにということで1業者、Jコインペイという決済方法を導入しております。これは限定的な金融機関のものでありまして、あまり利用数があるとは言えないと思っております。

今後、先ほどから言われます手で取引、お金の授受をするということに関しても、このコロナ禍では注視していくべきことかなと考えております。実際、現在売場のPOSシステム、これに連動できる業者のキャッシュレス決済について検討中でありまして、がまだせ市場のほうもそういう方向でいければというふうに考えているところでございます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） そのキャッシュレス決済が今、非常に普及しているんですけども、その背景として、導入に係るコストもほとんどかからないというような文句というか、そういうのもあって広がっているようです。ぜひそういったキャッシュレス決済等導入の検討をお願いできればと思います。

次に、道の駅についての3点目なんですけれども、次に私が思いついた取組が、ネットショップの取組です。コロナで外出の自粛が求められたんですが、その反動で巣籠もり消費といいますか、ネット通販については非常に好調な会社もあるということで、道の駅の中にも今回のコロナになったことでネットショップを開設したという道の駅もあるようです。

また、今、ネットショップのシステムも非常に多様なシステムがありまして、中には完全に初期費用であったり月額ランニングコストも無料というようなネットショップのシステムもあります。つまり、経費をかけずにやろうと思えば幾らでも今ネットショップができる時代になっているわけなんですけれども、今のところ道の駅としてそうしたネットショップに取り組みもうという動きがあるのかどうか教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 農林振興課長。

○農林振興課長（甲斐 徹課長） 農林振興課長。ネットショップの導入に関しましてですが、道の駅自体では今のところ考えてはいなかったところなんですけれども、道の駅ネットワークという形で全国の道の駅の展開もあっておりますので、そういうところを利用したことができないかとか、また、先ほど言われましたように経費をかけないネットのサイトを導入できればというようなことは若干考えておまして、がまだせ市場のほうでは、そういう経費のかかりにくいECサイト、これを検討中でありまして、ただ、がまだせ市場、道の駅、同じような商品になるところも特産品、農産品としてはありますので、その辺の調整のほうも検討が必要なのかなと考えております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 今、そのがまだせ市場でそういうネットショップの話も進んでいるという話を今私も初めて耳にして、ぜひ、一日も早くそうした取組ができるように、行政としてサポートをしていただきたいというふうに思います。

次に、また別の事業についてお伺いしたいと思います。

議案集の43ページの、先ほども質疑がありましたが、高校魅力化についてお伺いしたいと思います。

先ほど説明の中で、高校魅力化のための公設塾の設置についての調査ということだったんですが、その公設塾を設置するかどうかというところで、公設塾というものがこういうものですよと

いうデモの授業といたしますか、そうした取組もするという話を聞いているんですが、もう少し詳細について、教育次長にお教えいただければというふうに思います。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。板倉議員の御質問にお答えいたします。

もう少し詳細にということでありましてけれども、今回上げております委託料は、3月までの期間の金額になるんですけれども、全体的には半年ぐらい、最低でも。そういったプロモーションとかデモの期間はかかるのかなということ考えております。

先ほどさつき議員の質問の答えの中で、オープンスクールのことも触れたんですけど、これについては、オープンスクールのどういった内容でやるか、そういったものの協議が3月までかかるのかなというふうに考えております。実際のオープンスクールについては、やるとすれば4月以降になるのかなというふうに考えております。

公設塾をするかしないかということでの調査になるかと思うんですけれども、学校の先生方をはじめPTAとかそういった方々、あるいは地元、地域の方、そういった方の御理解とかが得られないとなかなか公設塾もうまくは進まないのかなというふうに考えているところです。

やるとなったらやっぱりスムーズにやっていけるのが理想でありますので、それに向けての——先ほども言いましたけれども、合意形成とか関係者との。それから、いろんな関係部署への説明等が出てくると思います。特に、一番労力を要するのは高校側ですか。高校の先生方。そういった方との協議といたしますか、先生方の業務の領域に入り込まないようにとか、業務のすみ分けといたしますか、そういったものをやっていくということがまず上げられるのかなという。その辺が解決していないとなかなか先生方との確執があって、なかなか最初が大変だということも先ほど言いましたB i r t h 4 7は経験されておまして、そういった初期の段階でのトラブルとかそういったものも経験しておりますので、そういったものをなるべくなくして、スムーズに移行するための調査業務というふうになるかと思えます。

実際、このB i r t h 4 7という会社は、公設塾だけをやっているわけではなくて、もともとはリフォーム事業、そういったものからスタートしましたので、公設塾を学校内とかあるいは近くの空き家とか、そういったものでやるということになった場合に、自前で公設塾仕様にリフォームしてしまうという、そういった強みがありますので、ほかの業者に委託して施設をつくってもらって、その後に入るということではありませぬので、そういったことの強みもあるかと思えます。

また、公設塾だけではなくて学習塾とかも別にやっております。また、スポーツ教室とかそういったものを開催したりとかそういったこともやっております、公設塾をするようになりまして実際に学習塾でやっていた講師とか、そういったプロの講師を地元に住民票を移して、住ま

わせて、地域に溶け込んで、塾だけではなくて地域の行事とかに参加したりとか、そういったことで取り組むというふうに、実際ほかの地区でもやっております。

そういった観点から、そういったトータル的にやっている事業所というのはあまり見受けられないということで、今回Birth47さんにこの事業をお願いしたいというふうに考えているところであります。

ちょっと重複するかもしれませんが、具体的には公営塾のためのコンサルタント事業ということで、関係団体との合意形成までの調整、それから、先ほども言いましたけれども、保護者等、あるいは学校の先生方への意識調査、アンケート、そういったものを実施すると。また、地元の中学、高校生の保護者だけではなくて、後々高校に進学する中学生を持つ保護者、そういった方、あるいは現役の高校生、そういった生徒と保護者等を対象とした説明会、そういったものを実施するというふうになっております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 公設塾をするに当たって、合意形成が大切だと。中でも、高校との合意形成が非常に重要だということなのですが、今回の補正予算を上げる以前の段階でこの公設塾について、高校との協議というのがされているのかどうか、そのあたりをお教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。高校側との協議につきましては、何度か、町長も交えて高校の校長、教頭、事務長を交えまして、授業についての説明等を、意見交換等を行っているところです。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） その中で、高校側が何か懸念点と申しますか、高校側からしたらこういったところは不安だという、何かそういうものが具体的に上がっているのかどうか、あればお教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。こういったことが懸念事項というのは特には、具体的には出ていないんですけれども、高校側としては課外授業と申しますか、補習をやっておりますので、公設塾をもしやるようになった場合は、放課後の時間と申しますか、夕方の時間ということで、高校がやっている補習とかち合うということで、高校側は補習は続けたいという考え、公設塾側としても、高校がやっていることまではなかなか入り込めないというか、じゃ補習をやめてくれというわけにもいかないということで、その辺の調整が出てくるのかなということ

になります。

保護者のほうが塾のほうに行きたいというふうになればまた変わってくるのかもしれませんが、その点、補習についてはちょっと現時点ではどうなるかは分からないところです。

そのほかの問題といますか、そういったものはちょっと特に現時点では出てきておりませんが、高校の先生方としても、どういったふうに塾をやっていくのかなというのが、多分イメージがちょっと漠然としているところがあるかと思いますので、そういったものをオープンスクールとか模擬の塾をやることによって、先生方にも見てもらって、理解してもらおうということになるかと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 高校の補習も今回の町としての公設塾も、もちろんどちらも高校生のための取組になりますので、利用者がバッティングしても意味がないと思いますので、共存できるように合意形成に向けてしっかりと話し合いを続けていただければというふうに思います。

あとお伺いしたいのが、今回が78万なんですけど、大体半年間ぐらいの予算で見ているという説明があったと思うんですが、もし実際に、正式に公設塾を1年間通して設置するとなったときに、どれぐらいの予算がかかるのか、その想定があれば教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。公設塾を年間通して運営するとなった場合は、塾生の数にもよりますが、100名ぐらいの場合が、講師の先生方が3名は要るのかなということで、単純に1名当たり1,000万ほどかかるというふうに聞いておりますので、年間の運営は3,000万はかかるかなと。ただ、初年度は、設備投資とかそういったものがかかりますので、1割から2割ぐらいのそういった初期費用がかかるということで、3,300万とかそういった金額になるのかなというふうに見積もっているところです。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 今の話で、講師が3名と想定して大体3,000万ぐらいがかかるという説明だったんですが、先ほども何度も話が出ていますが、何をやるにも財源をどうするのかという話になるんですが、この公設塾をするとなつて3,000万が必要となった場合の財源について、町単独以外に何かあるのかどうかをお教えてください。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。財源につきましては、交付税参入とか、措置と

かそういったものがあるのかなというふうには考えたところでありますけれども、今のところは特にそういったものはちょっと見当たらないということで、財政的に大変苦しい時期ではありますけれども、一般財源での、町の持ち出しということに現時点ではなるのかなと考えております。

何か使えるものとかそういったものがあればまた調べてみたいと思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） なかなか使えるものがないと。一般財源しかないかなという話なんですが、これからの話になるとは思うんですが、やはり高千穂高校は西臼杵郡唯一の公立高校ということになると思います。そうした中で、こうした公設塾の財源について、例えば西臼杵3町で賄うんだというような話を進める考えがあるのかどうかについてお伺いしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。私の立場でお答えできるのかどうかちょっと難しいんですけども、大分県の玖珠の例でいきますと、玖珠の美山高校に志学塾という塾をBirth 47さんがつくっておりますけれども、玖珠の美山高校の場合は、玖珠町とお隣の九重町が美山高校に通ってくるほとんどの生徒になります。一部、日田辺りから来る子供がいるのかなと思いますけど、少数だと思います。玖珠のほうはもう五、六年たっていると思うんですけども、当初はもう玖珠町単独でということやっております。九重町のほうからの負担金といいますか、負担してもらうという話については、今年になってそういう話が出てきたというふうにお聞きしております、幾らかの負担をするということになっているようです。具体的な金額については、ちょっとお聞きしておりませんが、実際に玖珠町に高校があつて、九重町にはないということで、所在しない自治体からの支援というのはなかなか理解が難しいような話は聞いております。

だから、当初から出してもらうというのは、その辺の玖珠の例を見ると厳しいのかなというふうに考えておりますけれども、話をしていくことになるかと思えます。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 今話を聞いて、やはり高千穂高校があるのはこの高千穂町です、まずはその高千穂町が本気でその高校魅力化に取り組むんだという姿勢を示すことがまずは必要なのかなというふうに思いました。

ただ、今の簡単な想定で講師3名として3,000万ぐらいかかるとなると、なかなか厳しいものもあるなという実情もあるかと思えます。

そこで、一つ検討してはどうかと思うのが、ガバメントクラウドファンドの活用です。過去に

も、高校の魅力化に取り組んでいる自治体というのは日本全国いろいろあるわけで、その中で、例えば北海道の夕張市では、高校の魅力化についてガバメントクラウドファンディングに取り組んで、2,300万ほど集めています。同じく長野県の白馬村も、高校魅力化についてガバメントクラウドファンディングに取り組んで、1,700万ほど集めているというような事例もあるようです。

もちろんそのガバメントクラウドファンディングに取り組んだら自動的にこれだけの寄附が集まるのかというと、必ずしもそうじゃなくて、その寄附を集めるための目には見えないような努力が必要にはなると思うんですが、やはり高千穂町として本気で高校魅力化に取り組むんだというメッセージを発信して、それに共感した人が寄附をするということになれば、それ相応の寄附が集まるんじゃないかなというふうに思っています。そんな考えを私個人としては持っているんですが、現時点でそういった取組のお考えがあるのかどうかについて再度お尋ねしたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。現時点では、今のクラウドファンディングの話は初めて聞いたようなことでありますので、現時点では考えておりませんが、また財政当局とあと執行部と話し合っ、また検討していきたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 板倉哲男議員。

○議員（2番 板倉 哲男議員） ぜひガバメントクラウドファンディングについても検討いただければというふうに思っています。

あともう一点、最後なんですけど、今回の公設塾の取組で、もちろん恐らくここにいる人全員、こうした取組賛成と思うんですけども、町民の中には、なぜ県立の高校に対する支援を町がするんだというようなことを考える方もおられるんじゃないかなというふうに思っています。ですので、なぜ高校への支援が高千穂町にとってのメリットがあるのかということの説明が必要なんじゃないかなというふうに思っています。

具体的には、高校があればそれだけ経済効果があるわけで、逆に高校がなくなれば経済的な損失がこれだけ大きい損失になるというような具体的な数字で説明すれば、そうした、何で県立の高校について町がお金を出すんだという方も納得されるんじゃないかなというふうに思っています。

ですので、そのあたり、なぜ町として県立の高校生に対して支援をするのかの啓発が必要と思っ、っているんですが、その辺り、今後合意形成という話もあったんですが、その中で取り組むのかと思うんですが、その辺りの啓発について、どうい、うお考えを持っているのかについてお尋ねしたいと思っ、ています。

○議長（工藤 博志議員） 教育次長。

○教育委員会次長（河内 晴彦次長） 教育次長。これについては町長のほうがふさわしいんじ、ゃ

ないですか。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 御質問にお答えいたします。

高千穂高校を守っていくということは、おっしゃったように地域活力がぐんとおちるということと、ほかの高校でもそういった地元の高校を守っていくんだという組織があちこち立ち上がっているという実態があります。

経済的な額についても細かくちょっと分析する必要があるねということは、高校の魅力化事業については、総合政策室のほうが今主体となって進めているところであります。実際には、まだ3町での協議会は、まだ正式には立ち上がっていません。今その準備段階ということになっております。3町長で協議し、また日之影、五ヶ瀬の議長にも了解を得ておりますし、また3町の教育長、そして3町の中学校の校長先生方にも御理解をいただいております。

今、今後どのように進めようかという内容を事務局レベルで詰めて、そして、年明けに正式に立ち上げようというふうに思っているところです。

この合意形成については、おっしゃったような、高千穂高校をなくしちゃいけないということ、これは活力の問題もありますし、また、将来この地域を担う人材をしっかりとこの地域で育成して、地域に誇りを持つ人材を小中高で育てていって、将来また高千穂にその優秀な人材を戻ってくるような、そういった人材育成というのが必要だと思います。そのためには、高校までこの地域で学ぶということが必要だということをしっかりと町民、3町の住民の皆様方で共有をするということを考えております。

今いろんな、この予算に計上されていることがあって、公設塾ということに非常に焦点が向いたお考えを皆さん共有されたかなと思うんですけども、実は、公設塾というのは3町で協議をしていく、町と住民の皆様、また卒業生、おがたま会がありますけれども、あるいはPTA、あるいは中学生を持つ保護者の皆さん方の意見を総合的に判断して、毎年毎年この3,000万なりのお金をかけていくべきなのかというところをしっかりと検討したいという段階です。ですので、今の段階で、やりますという、そういうレベルではないということを御理解いただきたいというふうに思います。

また、財源の負担についても、日之影、五ヶ瀬町と協議ができるのか。あるいは生徒数も少ないのでそこにはもうなかなか難しいという判断になるのか、その辺りも全く白紙の状態です。ですので、あくまでも高千穂高校を魅力化することについて、高校側としては魅力化ということについて、じゃ高千穂高校が全く今魅力がないのかというふうに思われたくないというか、そういった高校の先生方のプライドというか、そういった部分もあると思うんです。なので、名前についても守り育てるとかそういった名前にする必要もあるかなというふうに思ってい

るところです。

そもそも、外から見たときに、進学率というところが高校の魅力として非常に大きい部分を占めるのかなと思うんですけども、実際今、中学校の成績優秀者あるいは部活等で優れている生徒さんが延岡、日向、宮崎辺りにどんどん出ていっているということがあります。上位の成績の生徒さんが高千穂高校に来てくれれば、その出口のところでも当然次の段階、高いレベルの学校に進学できるという部分もあると思います。いかに中学校での成績上位の生徒さん、部活動で優れている……、成績を残している生徒さんをいかに高千穂高校に引っ張ってくるかというところでもありますので、例えば上位者に奨学金を出すとか、そういったことだっただけで考えられるし、あと入試の仕方についても、学力だけから、今の推薦、AO入試というような形で大学等の進学についても入試形態も変わってまいりますので、そこら辺りに力を入れて大学進学者を増やしていくというところの取組もあろうかと思えます。

地域探求学習というところが入試に非常に影響してくるという部分もありますので、そういった力も高千穂高校で伸ばしていくということもあると思います。ですので、学力のみに特化するのではなく、今後の入試の在り方、そこ辺りに適応する人材を育成するということも含めて、高千穂高校を魅力的にするために、魅力的に見えるためにどうするかということは今からしっかりと協議会を正式に立ち上げた中で、いろんな意見を聞いて議論していきたいというふうに思いますし、また、地域住民の皆様には、高千穂高校を残すことが西臼杵にとって必要なんだというその意識の共有をしていく広報活動等についてもしっかりとやっていきたいというふうに思っております。

以上です。

○議員（2番 板倉 哲男議員） 以上です。

○議長（工藤 博志議員） ここで、午後1時10分まで休憩します。

午後0時05分休憩

.....

午後1時10分再開

○議長（工藤 博志議員） 休憩前に続き会議を開きます。

ほかに質疑ありませんか。坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） 10番、坂本。午前中終わるかなと思っておったんですけども、2回質疑をされる方がおられましたんでなかなか長くなりましたけれども、単刀直入に質疑いたします。

まず、岩戸の湯の改修がございますけれども、高千穂の湯のほうが現地視察会でしたか、行われたというふうに思っておりますけれども、その件で、何か将来的に利活用してもいいというよ

うな、そういった個人・団体がありましたら、答えられる範囲内で結構ですので、お教えいただきたいと思います。

○議長（工藤 博志議員） 企画観光課長。

○企画観光課長（山下 正弘課長） 企画観光課長。これにつきましては、募集をしましたところ、2日間にわたって行いましたが、5者、個人の方も含めて、見学というか、来られました。その後それぞれ、そのうち4者からはいろいろと計画というかお話を伺ったところであります。

今、その中でいろいろと、もし町の意向と合うものがあればということでは考えておりますが、なかなか今のところはそのままそれを使っただけというようなことでは難しいのかなというふうには考えております。まだ検討中というところであります。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） 建物が非常に巨大でありますので、幾らということはなかなか引き受け手いないかもしれませんけれども、やるとしたら、もうただでもやってくれというぐらいの気持ちで、私は任せたほうがいいのかというふうに思っております。

それからもう一点、まちづくり事業につきまして、総括的なことでお伺いいたしますけれども、町長、高千穂神社前の交差点から下のほうです。三宝辻にかけまして、一応町なかのまちづくりとして見れば、その整備がなされないままになっておりまして、9月の末でしたか、一応要望書を支庁のほうに提出いたしましたけれども、よくよく考えてみますと、やはりまちづくりというふうに考えますと、町長から要望をしっかりと出したほうがいいのかというふうに思っておりますけれども、町長としてどういうふうにあの交差点から下、十社地区のまちづくりを考えておられるのかお伺いいたします。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 以前、おっしゃったとおり要望書を受け、西臼杵支庁のほうにもおつなぎをし、一緒に要望したわけですが、正式に町からの要望という形の文書にしたものというのではないのでありますので、今後検討したいというふうに思います。

まず、高千穂神社前の交差点から上については、真名井のほうまで今工事を進めておりますけれども、一体感を持って景観整備をする必要があるというふうに思いますので、あそこの舗装、そして歩道の整備、外灯の整備等も含めて、一体感を出した形で進めていきたいと思っておりますので、また町のほうも地域の皆さんの思いを受けて、一緒になって要望していきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） この路線につきましては、県道土生高千穂線ということで、期成会の会長が安在昭則議員がしておられまして、なかなか要望書を提出するにもやりにくいところもございましたけれども、まちづくりという観点では、町主導で行っていただきたいというふうに思うんですけれども、まず、改良するに当たって、概算で、伺ったときに2,000万ほどかかるということでありました。もし仮に、するとなったときに、財政的にですけれども、町として何らかの負担というものはできるものなのか、お伺いいたします。

○議長（工藤 博志議員） 町長。

○町長（甲斐 宗之町長） 県の方で行っていただく改良等につきましては、悪い部分を直すとか、拡幅するという部分だと思います。それで、町が特別に要望した色をつけるといいますか、舗装、こだわりを持った舗装にするとか、そういった部分については県と協議になると思いますけれども、町がその分は負担をしてくださいというような形も出てくるかと思っておりますので、そこは交渉をしながら検討することになるというふうに思っております。場合によっては、町が特別に要望する部分については町の負担を求められる可能性もあるかと思っておりますけれども、その時には予算の財源をどう確保するかという問題がありますけれども、できるだけ地元の皆さんの要望、そして、今、町が進めているまちづくりの流れの中で、一貫性を持ってということがあれば、負担も可能性はゼロではないというふうに思っております。

以上です。

○議長（工藤 博志議員） 坂本弘明議員。

○議員（10番 坂本 弘明議員） やはり十社地区、あの交差点から関係のある方々は、まちづくりからちょっと取り残された感というものがあられるようですので、来月、御一緒に県庁のほうに要望活動に行きますけれども、ぜひとも、その場ででもまちづくりの一環として、あの歩道の改良をぜひとも県のほうにも要望を一緒にしていただければというふうに思っております。よろしくをお願いします。

○議長（工藤 博志議員） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 質疑がありませんので、これで質疑を終わります。

これから補正予算議案5件について討論、採決を行います。

初めに、議案第89号令和2年度高千穂町一般会計補正予算（第5号）について討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第89号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第89号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第90号令和2年度高千穂町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第90号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第90号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第91号令和2年度高千穂町介護保険特別会計補正予算（第3号）について討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第91号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第91号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第92号令和2年度高千穂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）について討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第92号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案第92号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第93号令和2年度高千穂町国民健康保険病院事業会計補正予算（第4号）について討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

議案第93号について、原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（工藤 博志議員） 起立全員であります。したがって、議案93号は原案のとおり可決されました。

日程第6. 議案第83号

日程第7. 議案第84号

日程第8. 議案第85号

日程第9. 議案第86号

日程第10. 議案第87号

日程第11. 議案第88号

日程第12. 議案第94号

○議長（工藤 博志議員） 次に、日程第6、議案第83号から日程第12、議案第94号の条例改正議案6件、その他議案1件、計7件を一括議題として質疑を行います。

質疑をされる方は、議会申合せ事項を遵守していただき、さらに答弁者を指名して質疑願います。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 質疑なしと認めます。

次に、ただいま質疑の終わりました議案の委員会付託を行います。

お諮りします。

お手元に配付しております委員会付託一覧表のとおり付託して審査することにしたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤 博志議員） 異議なしと認めます。よって、各常任委員会に付託して審査を行うことに決定しました。

○議長（工藤 博志議員） 以上をもちまして、本日の日程は全て終了しましたので、これにて散会します。

○事務局長（甲斐 順生事務局長） 御起立お願いいたします。一同、礼。

〔起立・礼〕

午後 1 時 23 分散会
